

科目名	理容技術理論	学科名	理容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1通
授業時数	120時間	単位数	4単位
授業方法	講義	企業等との連携	○：該当
担当教員	秋山 美絵	実務経験のある教員科目	○：該当 ○
科目概要	I. 技術実習と並行して技術基礎、特殊技術から機械器具の種類・特徴・目的など使用上の注意点を学ぶ。 II. 理容にたずさわる手技、ヘアデザイン・ヘアカッティング・ヘアセッティング・パーマ ネントセット・ヘアカラーリング・シェービング・エステ・クリニック・シャンプー&リンス・マッサージ・トリートメント・スキャルプトリートメントの基礎を施術と並行して学ぶ。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 理容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 日本理容美容教育センター 理容技術理論1・理容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	授業態度・平常点・出席率等及び期末テストの点数を考慮し評価する。		
履修に当たっての留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、国家試験合格のため積極的に学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容
第1回目～第4回目	理容技術の基礎	理容理論を学ぶにあたって・理容技術 人体各部の名称・技術姿勢・トレーニング方法
第5回目～第8回目	理容用具	理容と用具・用具と衛生・刃物 理容道具（シザーズ・レザー・クリッパーなど）
第9回目～第12回目	ヘアデザイン	ヘアスタイリングとデザイン デザインの要素・ヘアスタイル
第13回目～第16回目	ヘアカッティング	観測法・カッティングの基本原理と一般的な手順 スタンダードヘア・デザインヘア・レディースカット
第17回目～第20回目	ヘアセッティング	ヘアセッティングの種類・実際 レディースヘアのスタイリング
第21回目～第24回目	パーマネントセット	ワインディング・コールド二浴式ウェーブの一例 アイアンинг・形状記憶デジタルパーマ
第25回目～第28回目	ヘアカラーリング	色彩の原理・染毛剤の種類と原理、安全性 ヘアカラーリング技術のプロセス
第29回目～第32回目	シェービング	シェービングの要件、種類、基本技術、プロセス メンズフェイス、ネックシェービング
第33回目～第36回目	理容エステティック	スキン・フェイシャル・ハンド・フッドケア アロマテラピー
第37回目～第40回目	理容クリニック	ヘアクリニック・毛髪の基礎知識 頭皮の基礎知識
第41回目～第44回目	シャンプーイング リンシング	シャンプーイングの方法・技法 リンシング
第45回目～第48回目	理容マッサージ	マッサージの意義と効果・マニュピレーション ヘッドマッサージ・クリニックマッサージ
第49回目～第52回目	ヘアトリートメント	ヘアトリートメントの種類と一例
第53回目～第56回目	スキャルプ トリートメント	スキャルプトリートメントの種類と一例
第57回目～第60回目	国家試験対策	国家試験の合格へ向けた問題演習①

科目名	サロンマナー	学科名	理容師学科
分類	選択必修	配当年次・学期	1後
授業時数	30時間	単位数	1単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○：該当
担当教員	伊藤 智佳子	実務経験のある教員科目	○：該当 ○
科目概要	理容師・美容師として必要不可欠な基本的サロンマナーを習得するため、見だしなみ・言葉遣い・電話対応の仕方・接客・カウンセリングなど、実務に即した内容を学ぶ。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	実際のサロンにおいて、お客様との挨拶や日常会話から気配りなど、接客コミュニケーション能力の向上を目標とする		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 日本理容美容教育センター ビジネスマナー		
成績評価の方法 ・基準	出席率及び授業に対する姿勢を考慮し評価する。		
履修に当たって の留意点	実社会で役立つ、生きた思考と技術を身につけるために、常に自ら考えるという習慣を備えてほしい		

授業計画	テーマ	内容
第1回目	社会人としての基本①	職場での基本モラル
第2回目	社会人としての基本②	職場での身だしなみ（清潔感とファッション）
第3回目	社会人としての基本③	職場での人間関係
第4回目	正しい動作①	あいさつ（あいさつの角度と角度に合った目的）
第5回目	正しい動作②	基本動作
第6回目	言葉使い①	話し方・聞き方（言葉遣いと言いまわし）
第7回目	言葉使い②	敬語（嫌味、イジメではない伝え方など）
第8回目	言葉使い③	人の呼び方（攻撃的にならない注意の仕方など）
第9回目	接客の基礎①	接遇
第10回目	接客の基礎②	接客対応
第11回目	接客の基礎③	実践トレーニング（報告の仕方）
第12回目	電話対応の基礎	電話の受け方・かけ方（メモの取り方・5W/3H）
第13回目	一般常識	名刺交換・紹介など（上司との座り位置関係）
第14回目	ロールプレイング①	サロンマナートレーニング
第15回目	ロールプレイング②	サロンマナートレーニング

科目名	理容実習	学科名	理容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1前
授業時数	330時間	単位数	11単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○：該当
担当教員	関根 孝明・秋山 美絵	実務経験のある教員科目	○：該当 ○
科目概要	I. スタンダードヘア・デザインヘア・ヘアセッティング・パーマネントウェービング アイアニング・ヘアカラーリング・シェービングの基礎技術を習得する。 II. 理容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 理容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 理容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 理容実習 1・理容実習2		
成績評価の方法 ・基準	理容実習の出席率及び受講態度、学期末試験成績		
履修に当たっての留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、技術の習得はウイッグ・相モデルでの施術を行います。自ら訓練し、資格取得に努力してほしい		

授業計画	テーマ	内容
第1回目～第11回目	ヘアカッティング① シェービング①	基本姿勢・姿勢の変化
第12回目～第22回目	ヘアカッティング② シェービング②	スタンダードヘアカットの用具の持ち方と操作 レザーの持ち方と操作
第23回目～第33回目	ヘアカッティング③ シェービング③	スタンダードヘアのカット技法 ラザーリング（襟・フェイシャル）
第34回目～第44回目	ヘアカッティング④ シェービング④	ミディアムヘア（クリッパーワーク） 襟付け・ふき取り（襟）
第45回目～第55回目	ヘアカッティング⑤ シェービング⑤	ミディアムヘア（後頭下部・ぼかし） シェービング（ラザーリング・運行順番1）
第56回目～第66回目	ヘアカッティング⑥ シェービング⑥	ミディアムヘア（後頭部） シェービング（ラザーリング・運行順番2）
第67回目～第77回目	ヘアカッティング⑦ シェービング⑦	ミディアムヘア（左側頭部・左髪際部） シェービング（ラザーリング・運行順番3）
第78回目～第88回目	ヘアカッティング⑧ シェービング⑧	ミディアムヘア（右側頭部・右髪際部） シェービング（ラザーリング・運行順番4）
第89回目～第99回目	ヘアカッティング⑨ シェービング⑨	ミディアムヘア（天頂部） シェービング（てん包・密着）
第100回目～第110回目	ヘアカッティング⑩ シェービング⑩	ミディアムヘア（セニング） シェービング（てん包・密着・清拭法1）
第112回目～第121回目	ヘアカッティング⑪ シェービング⑪	ミディアムヘア（40分） シェービング（てん包・密着・清拭法2）
第123回目～第133回目	ヘアカッティング⑫ シェービング⑫	ミディアムヘア（35分） シェービング（マッサージ1）
第134回目～第144回目	ヘアカッティング⑬ シェービング⑬	ミディアムヘア（30分） シェービング（マッサージ2）
第145回目～第155回目	ヘアカッティング⑭ シェービング⑭	ミディアムヘア（30分）・セニング（5分） 襟付け・シェービング（25分）
第156回目～第165回目	期末試験	ミディアムヘア（30分）・セニング（5分） 襟付け・シェービング（25分）

科目名	理容実習	学科名	理容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1後
授業時数	360時間	単位数	12単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○：該当
担当教員	関根 孝明・秋山 美絵	実務経験のある教員科目	○：該当 ○
科目概要	I. シェービング・ハンドケア・フットケア・ヘアクリニック・シャンプーイング＆リンシングヘッドマッサージ・クリニックマッサージの基礎技術を習得する。 II. 理容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 理容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 理容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 理容実習 1・理容実習2		
成績評価の方法 ・基準	理容実習の出席率及び受講態度、学期末試験成績		
履修に当たっての留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、技術の習得はウイッグ・相モデルでの施術を行います。自ら訓練し、資格取得に努力してほしい		

授業計画	テーマ	内容
第1回目～第12回目	サロン実践①	シェービング（刃の入れ方・使い方） シャンプーまでのお客様案内（クロスのつけ方）
第13回目～第24回目	サロン実践②	シャンプー（流し方・手順）トリートメント 頭皮マッサージ
第25回目～第36回目	サロン実践③	カラー塗布（リタッチ・2タッチ・特殊カラー） トレーニングクリーム使用
第37回目～第48回目	サロン実践④	カッティング応用（セニング・レザー・ ショップカット・スライドカット）
第49回目～第60回目	サロン実践⑤	パーマ（スパイ럴・ツイストスパイ럴・ 波巻き・ピンパーマ）
第61回目～第72回目	サロン実践⑥	デザインヘア（カット・パーマ・カラーなどを使い 流行を取り入れたスタイル）
第73回目～第84回目	サロン実践⑦	デザインヘア（カット・パーマ・カラーなどを使い 刈り上げを活かしたスタイル）
第85回目～第96回目	サロン実践⑧	デザインセット（アイロン・コテ・スタイリング）
第97回目～第108回目	サロン実践⑨ 国家試験対策①	モデル実習 ミディアムカッティング・シェービング・衛生
第109回目～第120回目	サロン実践⑩ 国家試験対策②	モデル実習 ミディアムカッティング・シェービング・衛生
第121回目～第132回目	サロン実践⑪ 国家試験対策③	モデル実習 ミディアムカッティング・シェービング・衛生
第133回目～第144回目	サロン実践⑫ 国家試験対策④	モデル実習 ミディアムカッティング・シェービング・衛生
第145回目～第156回目	国家試験対策⑤	国家試験実技シミュレーション①
第157回目～第168回目	国家試験対策⑥	国家試験実技シミュレーション②
第169回目～第180回目	国家試験対策⑦	国家試験実技シミュレーション③

科目名	総合実習	学科名	理容師学科
分類	選択必修	配当年次・学期	1 前
授業時数	120時間	単位数	4単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○：該当
担当教員	伊藤 智佳子	実務経験のある教員科目	○：該当 ○
科目概要	I. 理容実習及び理容技術理論を基に、サロンワークに対応できる実践基礎技術を学ぶ。 【エステティック（フェイシャル、ハンド）・シェービング・シャンプー・ブロー・ヘアセットなど】		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	理容技術者として理容技術及び知識を、サロンワークで実践できることを目標とする		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 理容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 理容実習1・理容実習2		
成績評価の方法 ・基準	総合実習の履修時間、日常の受講態度		
履修に当たっての留意点	社会に出て、即戦力になるため自ら考え行動する技術を身につけ、学習してほしい		

授業計画	テーマ	内容
第1回目～第4回目	総合実習①	エステティック基礎①フェイシャルマッサージ
第5回目～第8回目	総合実習②	エステティック基礎②フェイシャルマッサージ
第9回目～第12回目	総合実習③	エステティック基礎③フェイシャルマッサージ
第13回目～第16回目	総合実習④	パックシャンプー①・ブロー技術
第17回目～第20回目	総合実習⑤	パックシャンプー②・ブロー技術
第21回目～第24回目	総合実習⑥	スタンドシャンプー①・ブロー技術
第25回目～第28回目	総合実習⑦	スタンドシャンプー②・ブロー技術
第29回目～第32回目	総合実習⑧	スキャルプマッサージ①
第33回目～第36回目	総合実習⑨	スキャルプマッサージ②
第37回目～第40回目	総合実習⑩	スキャルプマッサージ③
第41回目～第44回目	総合実習⑪	ネイル技術①ハンドマッサージ
第45回目～第48回目	総合実習⑫	ネイル技術②ハンドマッサージ
第49回目～第52回目	総合実習⑬	シェービング技術①
第53回目～第56回目	総合実習⑭	シェービング技術②
第57回目～第60回目	総合実習⑮	シェービング技術③

科目名	総合実習	学科名	理容師学科
分類	選択必修	配当年次・学期	1後
授業時数	60時間	単位数	2単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○：該当
担当教員	伊藤 智佳子	実務経験のある教員科目	○：該当 ○
科目概要	I. 理容・美容実習及び理容・美容技術理論を基に、サロンワークに対応できる実践基礎技術を学ぶ。 【マッサージ・ヘカッティング・パーマ・カラー・シャンプー・ブロー・ヘアセットなど】		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	美容技術者としてビューティ技術のスキルアップ及び知識の向上を目標とする		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 理容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 理容実習1・理容実習2		
成績評価の方法 ・基準	総合実習の履修時間、日常の受講態度		
履修に当たって の留意点	美容・理容の授業で学んだ技術を、実社会で活かせるよう訓練してほしい		

授業計画	テーマ	内容
第1回目～第2回目	総合実習①	サロンワーク基礎（挨拶・マナー）
第3回目～第4回目	総合実習②	サロンワーク基礎（パックシャンプー・ブロー①）
第5回目～第6回目	総合実習③	サロンワーク基礎（パックシャンプー・ブロー②）
第7回目～第8回目	総合実習④	サロンワーク基礎（スタンドシャンプー・ブロー①）
第9回目～第10回目	総合実習⑤	サロンワーク基礎（スタンドシャンプー・ブロー②）
第11回目～第12回目	総合実習⑥	サロンワーク基礎（セット面での接客①）
第13回目～第14回目	総合実習⑦	サロンワーク基礎（セット面での接客②）
第15回目～第16回目	総合実習⑧	サロンワーク基礎（カウンセリング①）
第17回目～第18回目	総合実習⑨	サロンワーク基礎（カウンセリング②）
第19回目～第20回目	総合実習⑩	サロンワーク基礎（シェービング①）
第21回目～第22回目	総合実習⑪	サロンワーク基礎（シェービング②）
第23回目～第24回目	総合実習⑫	サロンワーク基礎（シェービング③）
第25回目～第26回目	総合実習⑬	サロンワーク応用（カット・カラー・パーマ①）
第27回目～第28回目	総合実習⑭	サロンワーク応用（カット・カラー・パーマ②）
第29回目～第30回目	総合実習⑮	サロンワーク応用（カット・カラー・パーマ③）